

長崎 もり通信

— NAGASAKI FOREST NEWS —

特集▼令和2年度第2回技術研修会を開催しました。

- 「森林ボランティア団体紹介」ながさき楽しみの森づくり会
- MHP Sエンジニアリング(株)長崎事業部様より
森林ボランティア活動支援物品が寄贈されました。
- 森のキセキ「ネムノキ」

065号

R2.7月

写真：長崎市民の森 橘翔大展望台からの眺め

令和2年度第2回技術研修会を開催しました。

5月30日（土）、佐世保市黒髪町にて、今年度第2回目となる技術研修会を開催しました。参加者は、5月に森林ボランティア団体として登録したばかりの「長崎竹活Labo」の皆さんです。当団体はこれまで森林ボランティア活動の経験はありませんでしたが、荒廃竹林を整備し竹炭づくりなど竹の有効活用に取り組み、竹林の多面的機能の再生と地域の活性化につながる活動を行っていきます。



チェーンソーメンテナンス



竹林モニタリング



竹林整備実習

研修では、竹林整備に関する基本をおさえた内容としました。まずはじめに竹林整備と竹の活用における現状についての講話を行い、次にチェーンソーの仕組みからメンテナンス方法、竹の正しい伐り方・間違った伐り方の指導により技術面についても学びを深めていただきました。その後、作業の目標を数値化する手段として5m×5mの範囲でモニタリングを行い、竹の適正本数を調査してチェーンソーと手ノコを使って適正本数まで整備に取り組みました。

今回の研修では、初心者向けに“安全面”について重点的に指導を行ったほか、今後見据える竹の有効活用についての課題と展望を見つけていただくことを目的としました。

参加者からは「実際に整備して難しさも大変さも理解できた。」、「安全に伐る大切さを学んだ。」との感想があり、作業における安全の重要性について十分実感していただけたようです。竹の有効活用については、今後さらに活動を重ね、思いを実現するためにクリアすべき課題を捉えていってほしいと思います。

参加いただいた皆様、大変お疲れ様でした。

ーボランティア団体紹介ーながさき楽しみの森づくり会

長崎市民の森を拠点とする当会は、「いきもの調べボランティア」の参加者によって設立され、平成25年に森林ボランティア団体として登録しました。市民の森の樹木名板づくりから始まり、植物の希少種保護や整備活動についてはのべ10haほどにもなるそうです。



取材日は、春に採って塩漬けしていたタケノコを塩抜きし、メンマづくりにチャレンジ。味付けは煮込みと炒めめの2つの方法を試すこだわりで、自家製メンマの出来上がりです。昨年度森林ボランティア団体交流会で訪ねた福岡県糸島市のメンマづくりがきっかけになったそうです。



代表の蓑田さんは、「森林整備に限らず森を楽しめるイベントを行いたい。多くの人に活動に参加してもらえたら。ハンモックづくりなど今後も色々と工夫していきたい。」と語り、冬には椿油しぼりにも再チャレンジする意気込み。“ながさき楽しみの森づくり会”その名の通り森を楽しむアイディアは尽きることがないようです。

MHP S エンジニアリング(株)長崎事業部様より 森林ボランティア活動支援物品が寄贈されました。

この度、MHP S エンジニアリング(株)長崎事業部様より、県内の森林ボランティア支援に関するご相談があり、5月に活動支援物品を寄贈いただきました。

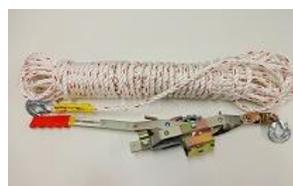
センターでは活動機材の貸出し支援を行っておりますが、右記の物品に関しても貸し出し可能となりましたので、ご希望の団体はセンターにお問い合わせの上、「機材貸出申込書」をご提出ください。詳細はセンターホームページでも紹介しています。



▲フォレストヘルメット



▲スリング



▲ロープウインチ



▲滑車



▲フェリングレバー



▲チャップス

センターHP

<http://nagasaki-shinrin.com>

森のキセキ … ネムノキ …

軌跡

ネムノキを漢字で書くと「合歓木」です。別名コウカノキと呼ばれます。合歓木を音読みにしてコウカノキと訛ったのでしょうか。この樹木は高さ10mくらいまで生長します。毎年6～7月にかけて開花するので、梅雨の晴れ間にドライブにでかけると、綿毛状でピンク色の花が樹上で咲いているのを至る所で見つけることができます。この植物は本州から沖縄まで川原や原野に分布しています。分類的にはマメ科ネムノキ属で落葉樹です。秋になるとサヤエンドウみたいな果実をつけるので目立ちます。



ところでネムノキと命名されたのは何故でしょうか。それは植物のある部分の動きが関係しています。この樹木は夜になると葉が垂れ下がり、小葉が閉じて眠っているように見えるためです。この動きを専門用語では就眠運動と呼ぶそうです。ネムノキは土壌が痩せて、植生がないところに侵入します。この生態に着目して治山工事などで肥料木として植栽されることがあります。治山ダムが設置される現場は土砂がむき出しになり、養分に乏しい土壌です。肥料木の根には根粒菌が共生しています。根粒菌は大気中の窒素の固定に優れ、窒素を共生植物に供給します。その一方で植物から栄養分をもらって生活しています。肥料木を植えることで土中の窒素分を増やし土づくりに貢献します。同じような働きをする樹木として、ヤシャブシ、ハンノキ、ヤマモモなどがあります。



センターからのお知らせ

今年度の森林ボランティア団体意見交換会は、9月5日（土）にホテルセントヒル長崎にて開催の予定です。近々詳細なご案内をお送りいたしますので、ボランティア団体の皆さま、ぜひ貴重な意見交換の場にお運びください。

昨年度の意見交換会の様子



登録団体の皆様へ 7月分の活動報告は、8月10日までにご提出ください。

本誌は間伐材利用促進のため、間伐紙を使用しています。